

科目名 Course Name	認知症の理解 I Understanding Dementia I	ナンバリング No.	J3-008				
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	吉田 志保						
連絡方法	C-Learning で対応。 または福祉棟 3F 研究室。 オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP2,DP4,DP5						
授業の概要と到達目標	<p>認知症がこころとからだに及ぼす影響について理解し、認知症のある人を支援するための基礎的知識を習得する。</p> <p>①脳の解剖・生理と記憶のしくみについて、説明できるようにする。 ②認知症がある人の心理的側面を相手の立場で考え、代弁できるようにする。 ③認知症を引き起こす疾患の特徴と、認知症に類似する疾患を列挙できるようにする。 ④認知症がある人の中核症状と、主な行動・精神症状を説明できるようにする。</p>						
授業の方法	課題を通して、グループディスカッションで学びを深める学習を行う。実習体験や、DVD の視聴、様々な場面から認知症を理解することを目的とする。また、認知症に関連するトピックスを新聞や雑誌などから選び、その記事の概要と感想をプレゼンテーションすることを課題とする。						
学習成果	L01						
	L02	認知症がある人の介護を行うため、認知症の特性を踏まえ、尊厳を重視した基礎的能力を身につけることができる。					
	L03	原因となる代表的な疾患と、中核症状及び特徴的な行動・精神症状を学び、なぜそのような行動を起こすのかを利用者側に立って考察し、利用者の立場で説明することができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	「認知症の原因疾患」や「認知症に関するトピックス」の発表後は、必ず補足をし、発表に対する感想を述べ、全学生にフィードバックする。						
教科書/参考図書	新・介護福祉士養成講座 第12巻 認知症の理解 中央法規出版(認知症の理解Ⅱと共用)						
履修上の留意点やルール等	授業・グループ学習・ディスカッションには積極的に参加し、学びを共有してほしい。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の視点で評価する。授業の準備が整い、講義は集中して必要なことをノートに取り、疑問点は質問して解決できること。ディスカッションでは他者の意見を傾聴し、自ら積極的に発言して学びを深められること。		10		
レポート/作品	①「毎日がアルツハイマー」の視聴による感想文、②「認知症を引き起こす疾患」の提出物で評価する。評価基準 S は、課題を理解しテーマを掘り下げて調査していること。期限を厳守して提出すること。		20		
発表	①「認知症を引き起こす疾患」、②「認知症に関するトピックス」で評価。評価基準 S は、課題を十分に理解し、分かりやすく工夫し、他者を惹きつけるようなプレゼンテーションであること。		10	10	
小テスト					
試験	授業の振り返り、知識習得の確認のために試験を行う。問題は文章の正誤を判断するものや語群からの選択問題、記述問題等。		10	40	
その他					
合計			50	50	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスにそって授業概要、授業の目標と学習の成果、評価方法等の説明) 認知症とは何か、実習での認知症がある利用者の体験
	事前・事後学習	介護実習で出会った認知症がある高齢者について、プリントを記入してくる。
2	授業内容	認知症ケアの歴史 認知症を取り巻く状況
	事前・事後学習	祖父母または近くの高齢者等に自分が子どものころ認知症の方ほどのようなケアを受けていたのか知っていることを聞いて、ノートに記載してくる。
3	授業内容	認知症の医学的側面の基礎知識① 脳のしくみ 脳の構造と機能 記憶のしくみ
	事前・事後学習	脳の図をノートに転記し、各部の名称と機能を調べ記載する。
4	授業内容	認知症の医学的側面の基礎知識② 認知症の原因疾患 【調査学習】
	事前・事後学習	割り当てられた認知症の原因疾患の特徴や症状、原因等について調べ、提出用の資料を作成する。
5	授業内容	認知症の医学的側面の基礎知識③ 認知症の原因疾患 【調査学習】 ＜資料提出は第7回＞
	事前・事後学習	割り当てられた認知症の原因疾患の特徴や症状、原因等について調べ、提出用の資料を期限内に提出できるよう作成する。
6	授業内容	認知症の人の医学・行動・心理症状① 中核症状
	事前・事後学習	記憶障害、見当識障害について具体的な例を調べ、ノートに記載してくる。
7	授業内容	認知症の人の医学・行動・心理症状② 行動・精神症状(BPSD)
	事前・事後学習	行動・心理症状などが問題になっている例を調べ、ノートに記載してくる。
8	授業内容	認知症の人の医学・行動・心理症状③ 行動・精神症状(BPSD) 視聴覚教材「毎日がアルツハイマー」の視聴 ＜レポート課題 提出は第9回＞
	事前・事後学習	レポート課題を記載し、期限内に提出できるよう準備する。
9	授業内容	脳のしくみ 認知症と類似する状態と病気
	事前・事後学習	認知症とうつとせん妄の違いについて、表を作り比較する。
10	授業内容	医学的側面から見た認知症の基礎知識③ 認知症の原因疾患 【課題発表と補足】
	事前・事後学習	発表された疾患について、補足説明も含めてポイントを整理する。比較表を作る。
11	授業内容	医学的側面から見た認知症の基礎知識④ 認知症の原因疾患 【課題発表と補足】
	事前・事後学習	発表された疾患について、補足説明も含めてポイントを整理する。比較表を作る。
12	授業内容	認知症の人の心理的理解 認知症をよく理解するための「九大法則と一原則」
	事前・事後学習	認知症当事者の手記から、何を望んでいるか、感じたことをノートに記載する。
13	授業内容	認知症の診断 認知症の評価スケール 【演習】
	事前・事後学習	家人や友人に協力を求め、授業で実施した評価スケール(HDS、MMSE)を自宅で2名に実施する。
14	授業内容	認知症の治療(薬物療法 非薬物療法)
	事前・事後学習	日本で認可されている4つの薬剤の比較表を完成する。
15	授業内容	認知症の予防 認知症の対策 認知症の人の心理的理解 授業のまとめと試験対策
	事前・事後学習	認知症予防で効果があると言われているものを調べてノートに記載する。